

## 令和6年度事業報告に関する件

特定非営利活動法人こども環境活動支援協会(以下 LEAF という) が令和6年度に実施した事業結果を以下のとおり報告します。

## 1 事業実績

## (1) 環境学習を通じた次世代育成

## ① 西宮市環境学習事業の企画・運営(西宮市受託事業)

公募型プロポーザルにより令和5年度～令和7年度の3年間、事業を受託しています。全国初の環境学習都市宣言をした西宮市が令和7年4月1日に市制100周年を迎えるにあたり、未就学児に配布する「ちきゅうとなかよしカード」の形状を、小学生向けの「エコカード」と同じ丸形から四角に変更し統一感をもたせ、ブレエコカードとしてリニューアルすることを所管課に提案し同意を得ました。またオリジナルで作成している「EWC ホームページ」において利便性向上を目指してスマホ対応するなどリニューアルに向けて移行期間とし、さらに「EWC 環境パネル展」の展示に関わる作業で車の使用制限をするなど、より一層、環境学習が浸透するよう努めました。

## ◇ エコカードシステム

市内公立41校(全校)を対象に、約26,000枚(全児童)を配布。また、一昨年再開した店舗でのエコスタンプ押印協力店も103店舗となり、コロナ禍以前の水準に戻りつつあります。

## 〈アースレンジャー認定数〉

| 種 類                     | R5 年度  | R6 年度 | 対前年比   |
|-------------------------|--------|-------|--------|
| アースレンジャー(エコスタンプ10個達成)   | 3,143名 | 2808名 | 89.3%  |
| アースレンジャープラス(エコスタンプ20達成) | 1,808名 | 1596名 | 88.3%  |
| アースレンジャーファミリー(家族での取組達成) | 342名   | 388名  | 113.5% |
| アースレンジャー6(6年間毎年レンジャー達成) | 99名    | 93名   | 93.9%  |

◇保護者用エコカード：市内公立小学校の各家庭に約20,500枚を配布しました。

◇ちきゅうとなかよしカード：公立保育所23所(市内全所)の4・5歳児に配布しました。

## ◇環境体験活動支援

〈EWCにおける活動 64件〉

|         |       |       |             |
|---------|-------|-------|-------------|
| 小学校等52件 | 幼稚園5件 | 保育所7件 | 合計参加者5,815名 |
|---------|-------|-------|-------------|

〈甲子園浜等における活動58件〉

|        |       |       |             |
|--------|-------|-------|-------------|
| 小学校52件 | 幼稚園2件 | 保育所4件 | 合計参加者5,244名 |
|--------|-------|-------|-------------|

〈甲山における活動〉

|               |          |
|---------------|----------|
| 森林体験活動(保育所)1件 | 合計参加者51名 |
|---------------|----------|

#### ◇環境学習サポートセンター（事務局）の管理・運営業務

環境学習に関する展示や相談窓口などを持つ環境学習の総合拠点施設である環境学習サポートセンター（事務局）の管理・運営業務を行いました。

〈年間来館者数〉

|        | 未就学児    | 小中学生    | 一般       | 合計       |
|--------|---------|---------|----------|----------|
| R5 年度  | 4,349 名 | 2,580 名 | 10,069 名 | 16,998 名 |
| R6 年度  | 4,485 名 | 2,787 名 | 10,289 名 | 17,561 名 |
| 対前年同期比 | 103.1%  | 108.0%  | 102.1%   | 103.3%   |

#### ◇EWC 環境パネル展（イベントの運営補助業務）

環境に配慮した実施方法（ネット活用・事前審査・搬出入方法など）を、主催者の西宮市と見直す過程で、会期の短縮等もあり応募、来場者とも減少しています。今後は利便性の高い会場選びなども含めて引き続き市と検討します。

【期 間】 令和7年2月19日（水）～23日（日）

【場 所】 西宮市市民ギャラリー

【出展数】 481 点（令和5年度 754 点（海外作品含む） 対前年同期比 64%）

【来場者数】 1,819 名（令和5年度 3,009 名） 対前年同期比 60%

#### ② 自然・農体験を取り入れた家族向けプログラムの提供（自主事業）

西宮市農業委員会のご指導を受けながら、体験の場となっていた農地の整備等を実施しました。特に近年の猛暑等で管理が厳しく維持することが困難となっていた鷲林寺農地を持ち主に返却することとし、原状回復作業（整地、整備、農機具や建造物の撤去等）のため、自主事業の開催回数等が減少しました。

#### ◇乳幼児及び家族向け「こそだてファームらんど・甲山」

【開催実績】

○春夏期（5月～9月） 全6回×32 家族 延べ参加者 666 名  
（令和5年度 全6回×60 家族 延べ参加者 1209 名）

○秋冬期（10月～3月） 開催なし  
（令和5年度 全5回×60 家族 延べ参加者 944 名）

#### ◇小学生向け「こども農業塾」（実行委員会形式）

【開催実績】 6回 10 家族 （令和5年度 5回 10 家族）

○実行委員会 グッドホールディングス㈱、金田運輸㈱、㈱松田組、  
JR 甲子園口ほんわかセンター街、LEAF

○協 働 西宮ホワイティライオンズ

#### ③ 自然や農体験を通じた環境等研修及びプログラムの提供

##### ◇研修（講師派遣）

○派 遣 先 西宮市保育士研修、阪急阪神ホールディングス新入社員研修、西宮市初任者研修  
西宮市教育研修課「環境教育研修」など 10 か所

##### ◇イベント（講師派遣）

○内 容 春風公民館主催クラフトイベント  
西宮市地域保健課主催のしめ縄イベント

#### ◇トライやるウィーク（中学2年生社会体験）の受入（協力）

○受 入 校 西宮市立中学校 4校

◇自然環境体験事業（小学校3年生対象）

○受 入 校 西宮市立小学校1校・市外の小学校2校

（2）環境学習を支援する拠点・施設の整備運営等

① 甲子園浜自然環境センター管理運営等（西宮市受託事業）

公募型プロポーザルにより令和5年度から3年の期間で事業を受託しています。企画展示の充実や丁寧な来館者対応に努めたところ、利用者数の増につながりました。

◇学習交流室管理運営

甲子園浜の魅力や大切さを発信するとともに、学び・遊べる施設となるよう展示、企画を実施しています。令和6年度には年間来館者が40,000名を超えました。

〈年間来館者数〉

|        | 未就学児    | 中学生以下   | 一般      | 合計      |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| R5年度   | 9,218名  | 8,118名  | 17,054名 | 34,390名 |
| R6年度   | 10,271名 | 10,324名 | 20,572名 | 41,167名 |
| 対前年同期比 | 111.4%  | 127.2%  | 121.6%  | 129.7%  |

◇企画イベント

- 「今知っておきたい海のこと どこから来たの？ どこへ行くの？」  
（ひょうご環境創造協会共催事業） 5月1日～7月31日
- 海のいきものをたくさんつくってみよう 7月20日～9月1日
- 「甲子園浜のいきものウォッチング」 7月21日
- 「魚やカニに朝ごはんをあげてみよう」 7月24日～8月28日
- 「夏休み 宿題お助け大作戦」 8月1日～9月1日

◇甲子園浜（大阪湾）の生体展示

甲子園浜に生息する生きものの飼育および採取を行いました。

（3）都市型里山里地事業の推進等

① 西宮市立甲山自然環境センター（西宮市指定管理業務）

5期目の指定管理者として継続運営することになり、利用者サービスの向上のため、令和7年度秋の利用料金改定を念頭に、受付システム開発の創意工夫、課題解決に努めています。

◇管理運営業務の遂行

〈年間利用者〉

|          | R5年度    | R6年度    | 対前年同期比 |
|----------|---------|---------|--------|
| 甲山自然の家   | 2,794名  | 3,607名  | 129.1% |
| 甲山キャンプ場  | 7,509名  | 7,405名  | 98.6%  |
| 研修室利用    | —       | 5,030名  | —      |
| 社郷山キャンプ場 | 1,260名  | 1,499名  | 118.0% |
| 自然学習館    | 8,225名  | 16,897名 | 205.4% |
| 合計       | 19,788名 | 34,438名 | 174.0% |

注1）自然の家…コロナウイルス感染症対策により休館していた自然の家を令和6年7月1日より再開しました。

注2）社郷山…施設改修工事のため、令和5年10月から令和6年3月中旬まで休場しました。

#### ◇業務効率向上に向けたシステム開発（新規）

令和7年9月の市の料金改定に向けて、利用者の利便性と業務効率の向上を目的としたオンライン予約システム等の開発に着手し、令和7年8月末までの完成を目指しています。

#### ◇イベント企画

○「遊ぼう屋」：森林整備やウッドチップづくりを通して、甲山の木の利活用（循環利用）を学ぶ。

【開催実績】 5回 延べ参加者 52名 （令和5年度 1回 延べ参加者 14名）

○「エコひろば」：甲山を歩いて生き物たちのくらしを学ぶ。

【開催実績】 10回 延べ参加者 146名 （令和5年度 6回 延べ参加者数 73名）

#### ◇生物多様性、防災・減災に配慮した森林、湿原等の保全

キャンプ場周辺の森林整備を進めるとともに、市民ボランティアとの協働で西宮市の生物保護地区である甲山湿原およびその周辺の整備に取り組みました。

#### ◇森林資源の活用を通じた資源循環活動事例の開拓

○伐採木を活用したキャンプ場薪材の生産（すずかけ作業所へ依頼）販売（継続）

○エコクラフト材料の作成と販売（継続）

○伐採木、剪定枝チップの生産（継続）

#### ② LEAF 都市型里山里地ボランティア活動

◇全体説明会 2回 延べ参加者 30名 （令和5年度 2回 延べ参加者 35名）

##### ◇自然（植物、鳥類、昆虫）調査

12回 延べ参加者 110名 （令和5年度 12回 延べ参加者 110名）

##### ◇里地里山活動（湿原内の除草作業等）

17回 延べ参加者 58名 （令和5年度 16回 延べ参加者 112名）

##### ◇語り部活動（語り部イベントの準備活動等）

11回 延べ参加者 44名 （令和5年度 10回 延べ参加者 75名）

#### ③ 都市型里山里地フィールド体験セミナー

森林資源の循環利用、里山林の手入れ方法、里山林の生物多様性、西宮市の里山等をテーマに実施。

5回 延べ参加者 21名 （令和5年度 2回 延べ参加者 15名）

#### ④ 甲山周辺自然調査（再掲）

環境省「モニタリングサイト里地 1000」事業として実施しました（都市型里地里山ボランティア活動の一環）。モニタリングサイトを長期間設置し生物多様性の保全施策につなぐことを目的として実施しました。

#### (4) 環境学習を基盤にしたこども・若者等への国際交流の推進

##### ① JICAからの受託事業

###### ◇課題別研修「民間セクター・市民社会との協働による固形廃棄物管理(A)コース

【期 間】 11月11日～12月17日

【研修員】 9名

【対象国】 9カ国（ブータン、ボスニアヘルツェゴビナ、ブラジル、コソボ、ウズベキスタン  
北マケドニア共和国、パプアニューギニア、セルビア、トルコ共和国、）

【主な研修先】 株式会社新肺和工業（ゴミ収集車製造メーカーの取り組み）  
株式会社山一商会（ガラス瓶のリサイクル）等

###### ◇課題別研修「固形物廃棄物管理の基礎(B)」コース

【期 間】 2024年8月5日～9月13日 【研修員】 7名

【対象国】 7カ国（カンボジア、エチオピア、レバノン、フィリピン、南スーダン、スーダン、バヌアツ）

【主な研修先】 西宮市（ゴミ処理場） 廿日市市（観光地におけるごみ処理）等

##### ② 万博交流プログラム（新規：西宮市委託事業 内閣官房主催事業）

西宮市とソロモン諸島ホニアラ市は、環境学習都市間交流・協力に関する覚書を締結しており、既にホニアラ市と交流実績のあるLEAFが国内コーディネート（企画運営）業務を令和7年度に実施する企画・調整を行いました。

【来日期間】 令和7年9月15日～20日（予定）

【令和6年度委託期間】 令和6年12月23日～令和7年2月26日

【対象者】 ソロモン諸島ホニアラ市高校生と引率者 5名程度

【目 的】 若者交流と環境学習など

【主な訪問先】 大阪関西万博 小学校 甲子園浜自然環境センターなど

#### (5) 社会課題の解決に向けた多様な主体との協働

##### ① クラウドファンディング事業「こども環境キャンプ」(新規・自主事業)

阪急阪神ホールディングス主催「ゆめ・まちクラウドファンディング」の10団体のひとつに採択され、下記の通り寄付が集まりました。この資金を活用し、甲山の豊かな自然のなかで農業体験や廃棄物を活用した楽器づくりなどの環境学習、ダンスなどの交流により、みんなで心を合わせ生きていく喜びや協力する大切さを学ぶ「こども環境キャンプ」の企画を進めます。令和6年度は主として寄付集めと事業の準備を行いました。

【募集実績】 531,000円（87名）

【実施内容】：

○主な参加者 障がいのある子どもと家族 地域の若者 ボランティア 専門家等

○令和7年4月3日 味噌仕込みイベント 4月3日

○令和7年6月1日 玉ねぎの収穫・サツマイモの植え付け・ダンス交流イベント

○令和7年11月1日から2日 サツマイモ収穫と調理・ダンス交流・廃棄物の楽器作り

## 2 組織体制・財政の確立に関する事項

### (1) 組織体制について

#### ① 執行体制での組織運営

専務理事を新たに選任するなどの役員人事を行い、時代ニーズに即した事業展開が出来るよう執行体制を整え、社会的な認知度の向上と自主財源の確保が進むよう、寄付控除ができる認定NPO法人を目指すことにしました。

## ② 就業規則に基づく労務環境の執行

社会保険労務士と適宜相談を行い法律改正への対応など良好な労働環境の維持・改善に努めました。

### 【対応事項】

○36協定の順守（労働時間に関する労使協定（延長できる労働時間の限度 1 年間 360 時間））

○有給休暇取得 一般職員、契約職員等職員に係る取得義務日数は履行、パート職員も勤続年数に応じた日数を付与

○パート職員最低時給単価の改善

## ③ 事務局運営体制

安定した職員雇用のため事業全体での創意工夫や業務 改善を行い基本業務の確保に努めました。

### 【事務局職員の構成】

○一般職員（継続雇用）…… 5名

○契約職員（単年契約）…… 2名

○パート職員（短時間契約）… 29名

## ④ 職員の各種スキル向上に向けた研修の実施

業務に応じて、草刈り機等取扱の研修を実施しました。

## (2) 財政基盤の確立について

財政に関しては、超過勤務の抑制、管理費削減などに努め、財政運営の安定化に取り組みました。しかしながら、諸事情による鷲林寺農地からの事業撤退等に伴う一時的な費用負担の発生等が主要因となり赤字決算となりました。

## 3 会員等の現況（令和7年3月31日現在）

LEAF の活動にご理解をいただき、積極的に組織の運営に携わっていただくため正会員の確保に努めました。

併せて、今後 LEAF 自体の組織運営の強化や持続可能性を高めていくため、新たに令和8年度（2026年度）に「認定NPO」となることを目指し、その要件の一つである「3,000 円以上の寄付を年間 100 口以上」を目指して積極的な取り組みを始めました。

また、令和6年度は初めてクラウドファンディングにも挑戦しました。これは寄付として、賛助会費として参入できる仕組みでもありますが、新たな財源の確保とこれを基にした新規事業を推進しているところです。

【正 会 員】個人会員90名、団体会員42団体 〈前年同比 91 名 41 団体〉

【賛助会員等】寄付・協賛・クラウドファンディング 6 団体、87名、賛助会員66名

〈前年数 寄付・協賛4団体 他はなし〉

〈正会員と賛助会員・寄付の違い〉（正会員と賛助会員の双方に入ることとは可能です）

|      |                                                                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 正会員  | NPO を構成する構成員であり、総会への出席や新事項の議決権を有するなど組織の運営に積極的に関与できます。                                                 |
| 賛助会員 | 総会への出席、議決権はありませんが、NPO 法人の運営に賛同する方が気軽に資金面から応援していただくための制度です。寄付と同じで、認定 NPO 法人への寄付者には税制上の優遇が受けられる場合があります。 |